

「幹細胞の培養法・培養工学のためのコンソーシアム」 第7回シンポジウム

多能性幹細胞の培養法と培養工学の発展と融合は、目的に応じた細胞を大量に必要とする再生医療では極めて重要であると考えられ、産学が一体となり、その要素技術を持ち寄って議論できる産学コンソーシアムを設立し、例年シンポジウムを開催してまいりました。この度、iPS/ES細胞や間葉系幹細胞の培養法・培養工学の融合のための成果発表、議論の場として、第7回シンポジウムを開催させて頂きたく、ご案内申し上げます。

日時：2023年11月25日（土）

時間：講演会13：00～17：00 情報交換会17:15～18:15（予定）

場所：大阪大学吹田キャンパス **銀杏会館**（現地開催のみ）

参加受付URL：<https://forms.office.com/r/fburunJZdW>

参加費：無料（情報交換会：500円）

定員：250名* *定員を超えるお申込をいただいた場合は、調整させていただく場合がございます。

共催：大阪大学大学院工学研究科

（テクノアリーナ最先端研究拠点「細胞製造コトづくり拠点」）

後援：バイオコミュニティ関西（Biock）

【開会挨拶】

13:00- 紀ノ岡 正博 先生（大阪大学大学院 工学研究科）

【特別講演】（講演50分・質疑応答10分）

13:10- 座長：紀ノ岡 正博 先生（大阪大学大学院 工学研究科）

「脂肪由来幹細胞の新たな応用に向けて～ヒト抗菌エクソソームと魚類培養脂肪～」

杉井 重紀 先生 シンガポール分子細胞生物学研究所（IMCB, A*STAR）

【講演】（講演10分、質疑応答15分）

14:10- 座長：中川 誠人 先生（京都大学 iPS細胞研究所 未来生命科学開拓部門）

①「iPS細胞を用いた膀胱組織のインビトロ構築」

高里 実 先生 理化学研究所 生命機能科学研究センター

②「相分離からひもとくリプログラミング因子の構造と機能」

下林 俊典 先生 京都大学 iPS細胞研究所 未来生命科学開拓部門

③「非ウイルスCAR-T細胞のアカデミア創薬」

中沢 洋三 先生 信州大学 医学部 小児医学教室

【紫綬褒章受章記念講演】（講演60分・質疑応答20分）

15:40- 座長：紀ノ岡 正博 先生（大阪大学大学院 工学研究科）

「多細胞体制と細胞外マトリックス：なぜ細胞には足場が必要か？」

関口 清俊 先生 大阪大学 蛋白質研究所

【閉会挨拶】

17:00- 関口 清俊 先生（大阪大学蛋白質研究所マトリクス科学（ニッピ）寄附研究部門）

【情報交換会】17:15-18:15 銀杏会館2階 レストランミネルバにて

参加される方は、講演会終了後、銀杏会館2階レストランミネルバ にご参集の程、宜しく願い致します。

事務局：味の素株式会社 アミノ酸部 原田・佐々木・板屋
(E-mail：stemfit@asv.ajinomoto.com)

ご参加お申込み：「幹細胞の培養法・
培養工学のためのコンソーシアム」第7回
シンポジウム

